明治四十五年四月二十五日發行
毎月一回二十五日發行

婦人新報

第百七十八號

明治四十五年四月廿五日

ヤコブの神をおのが助とし、その望をおのが神ヱホバにおくものは福ひなり。此は天地と海とその中なるあらゆるものを造り、とこしへに眞實をまもり、虐げらるゝものゝ爲めに審判を行ひ、飢たるものに食物をあたへ給ふ神なり。ヱホバは捕はれたる人を解き放ち給ふ。ヱホバはめしひの目を開き、ヱホバは屈者をなほくたゝせ、ヱホバは義きものを愛くしみ給ふ。ヱホバは他邦人を守り、孤子と寡婦とをさゝへ給ふ。されど惡きものゝ徑はくつがへし給ふなり。ヱホバはとこしへに統御たまはん。シオンよ、なんぢの神はよろづ代まで統御たまはん。ヱホバをほめたゝへよ。

（詩篇第百四十六篇五節―十節）

日本基督教婦人矯風會

17

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百七十八號目次

社説　大會近けり　附　大會順序

をしへの庭

罪の赦　神學博士　井深梶之助氏

婦人の宗教　牛込教會牧師　田島進氏

もーほ草

本多先生の御永眠　記者

本多監督を悼む　東京南坂教會牧師　小崎弘道氏

すぎこしかた　矢島楫子

看護婦となりし動機　大阪看護婦會長　大關ちか子

動物愛護に就て　安中花子

ホーム

母親は勿體なく騙さる　東洋幼稚園長　岸邊福雄氏

健氣なる青年　記者

家庭も亦學校なり　三輪田眞佐子

はたらき

リービット夫人　記者

覺え帳の中より　益富氏

朝鮮旅行記　神戸矯風會長　渡邊常子

入峽の記　守屋東子

おとつれ

本部○弘前支部○盛岡支部○山梨青年部○其他

社告

◉婦人新報定價（郵税共）

一部（前金）　金六錢

六部（前金）　金三十五錢

十二部（前金）　金七十錢

郵券代用一割増

◉廣告料

一行（五號活字）　金十錢

明治四十五年四月廿四日印刷
明治四十五年四月廿五日發行

發行兼印刷人　矢島楫

編輯人　高原孝

發行所　東京市麴町區上二番町卅三　矢島方　婦人新報社

編輯及事務所　麴町區上二番町卅三　矢島方

No. 178　　APRIL. 1912

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

The Coming annual Meeting..............Editorial.
Fogiveness of Sins ....Dr. K. Ibuka.
Women and Religion ....Rev. S. Tajima.
The Death of Bishop Honda..... ....Staff Contributer.
The Late Bishop Honda.....................Rev. K. Kozaki.
Reminiscence.......................................Mrs. K. Yajima.
My Motive for becoming a Nurse......Miss C. Ozeki.
The Protection of Animals .. ..Miss. H. Annaka.
How mothers are Deceived by their Children. ... ...Mr. F. Kishibe.
A Brave Youth . ...A Writer.
The Home a School...........................Mrs. Y. Miwata.
The life of Mrs. Libbitt?............ ...Staff Contributor.
The Movement of W. C. T. U. at Chosen.......... ....Miss. S. Wtanabe.
Lines from My Diary ... .M. Masutomi.
Record of my Visit to Koshu...........Miss. H. Mariya.
W. C. T. U. News.

FUJIN SHIMPO OFFICE.

c/o Mrs. Yajima, No. 33 Kaminibanchō Kojimachi, Tokyo.
70 sen per Annum. Single Copy 6 sen.

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

衣裳の薫 美麗紙袋 十箇入壹圓七十錢
仝 五箇入八十五錢
仝 家庭用紙袋十箇入壹圓
仝 五箇入五十錢
防虫香 五十箇入壹圓貳十錢

發賣元
浪花
東都
東籬園

● 衣裳の薫

純日本式
高等香料

（紳士淑女は必ず本品を用ひ給へ）

今日此頃青葉若葉の眼に新しく、身に重き冬衣を脱ぎ捨てて衣裳の薫の移り香床しく初袷すがすがしく身につけたる時の心地よさ、藤は潤く氣高く、牡丹は艶に美しく、花あやめの粋なる、皆とりどりに趣はあれど香料は衣裳の薫を措きて他になし。

四季を通じ衣裳の保存には心すべき事なれども、わけて降り暮す五月雨の頃は大切の衣裳を損じ玉はぬ様豫め衣裳の薫を供へ置き給へ、防虫、防濕の効能偉大なり。

◎弊園は矯風會の主義を賛するものなり、希はく志を了し御用命の際は婦人新報社へ、關西の御方々は大阪支部へ御申込あり度し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生徒募集

和洋裁縫教授

但個人教授に依り懇切に教授し且つ傍ら精神の修養を重んず

本郷區曙町十六番地い、ノ三號
（白山停車場脇）

安村女塾

看護婦并に見習生

募集

東京芝區葺手町五番地

渡邊看護婦會

會主 渡邊鎌子

電話芝壹三九三番

婦人新報

第百七拾八號

大會近づけり

本年度の大會も愈々間近になつてまゐりました。願くは例年にまさりて神の御祝福を蒙むりたいものと切に祈つて居る次第であります。

世の中は追々進んでまゐりました。物質的文明のみではどうしても、いけないとあつて、精神的方面に對して、當局者を始め、識者の注意を喚起し、既に御承知之通り、先日三教者の會同も開かれ、益々宗教家の活動を望むとの當局者よりの希望でございました。之は實に我國の歴史上未曾有の事でございませう。私共斯かる現象を以て此國民の精神的覺醒の時期漸く到來しつゝあるを思ひ喜びに堪へない次第でございます。

斯く、一方で精神的覺醒を致して參りつゝある間に、一方に於ては、しばしば天火降りて惡所を燒くこと、實に頻々、先年大阪北曾根崎新地遊廓全燒して間もなく、日本第一の惡所吉原の大火あり。暫くにして又洲崎遊廓海嘯に呑まれ、暫くにして大阪灘波新地遊廓の大火あり、而して近頃再び洲崎遊廓に大火起る。私共はどうしても之を無意義に考へ去ることは出來ません。之必ずや萬軍の主エホバの聖旨でなくてはなりません。

而して又一方に於て廓清會起り、盛んに廢娼運動の氣勢を高め、着々として、事業は進捗し、殊に宗教家のみならず教育家及び政治家、醫學者の方面に大なる同情者、同主義者を見るに至りましたとども考へて見れば、實に今ぞ「惠みの日救の時にして、諸共に覺りより覺むべきの時」なるを思はずには居られません。來るべき大會に於て私共は是非神よりの御祝福を豐に受て、神の御使命を全うしたいものと存じます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本基督教婦人矯風會廿回大會

執行順序

△時日　明治四十五年七月十日より十二日マデ
△會場　東京市麻布區鳥居坂東洋英和女學校

▲七月十日午前九時

○祈禱會（三十分間）
○開會（九時半より）
△讃美、聖書朗讀祈禱
△役員、部、課長並に出席員支部長點呼（井深花子）
△本部記錄書記報告（井深花子）
△大會執行委員撰定（會頭指名）
○會頭演說
○議題提出
○正午祈禱（正十二時）

▲十日午後二時

○讃美、祈禱
○代員證明書朗讀（高原孝子）
○報告
△通信書記報告（高原孝子）
△青年少年兩部報告（カンドレット恒子）（守屋東子）
△會計報告（小崎千代子）
△婦人新報報告（高原孝子）
△萬國本部派出員報告（ミス、デビス）
○議事
○讃美、祈禱

▲十日午後七時

○迎會

▲十一日午前九時

○讃美、聖書朗讀祈禱
○前日記錄朗讀（會場書記）
○各課長報告
○支部代員紹介
○議事
○正午祈禱（正十二時）

▲十一日午後二時

○讃美、祈禱
○特別委員長報告
△時事問題委員報告（高原孝子）
△財政報告（小崎千代子）
○役員選擧
○讃美、祈禱
○本部役員會

▲十一日午後七時

○公開演說會（神田青年會館）
○賞旗授與式

▲十二日午前九時

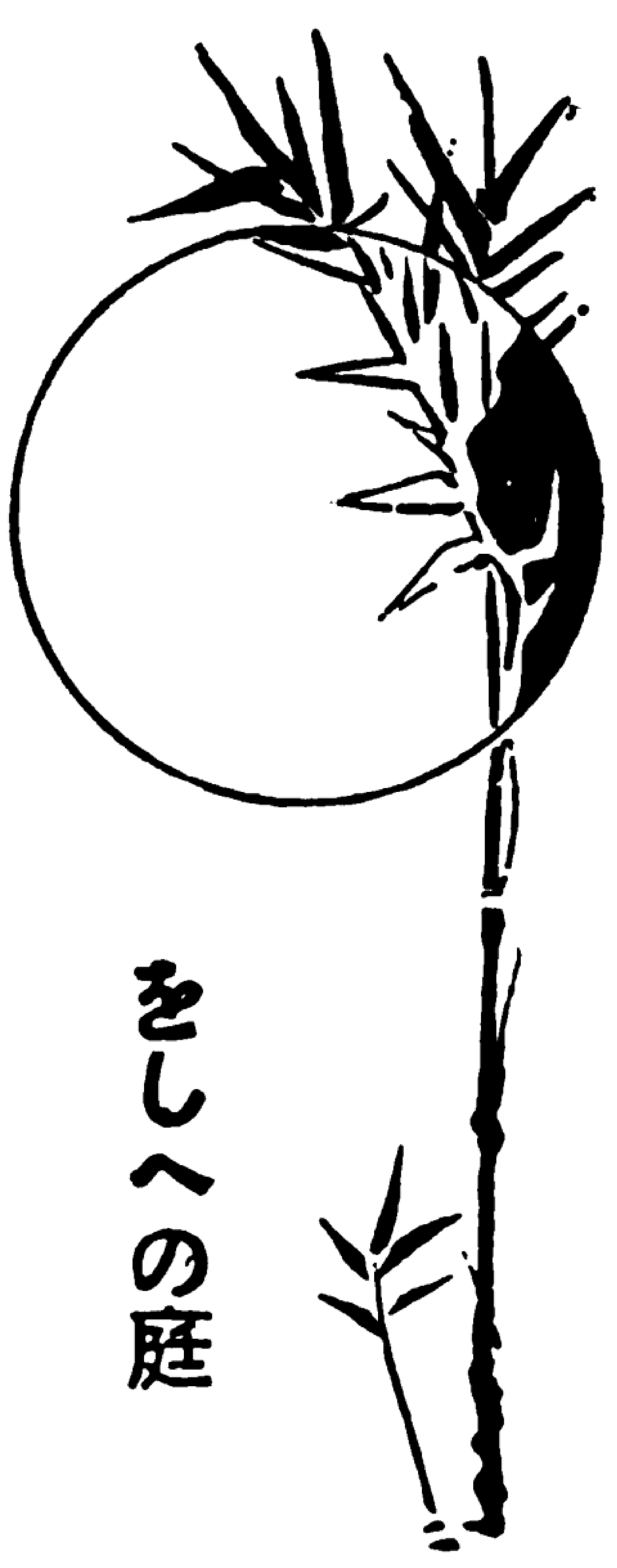
○部課長懇談會
○前日記錄朗讀（一時間）
○追悼會
○新任課長報告
○正午祈禱（正十二時）

▲十二日午後二時

○讃美、祈禱
○青年少年兩部大會（司會者カンドレット恒子 守屋東子）
○殘務
○會場記錄朗讀

▲十二日午後七時

○親睦會



をしへの庭

罪の赦

神學博士　井深梶之助

聖書路加傳の十八章の八節より廿六節にかきしるされて、有ます事、即ち罪の赦に就て御話し致したいと思ひます。罪の赦と申ますと、赦しと云ふ事が主となりますが、順序として罪とは如何なる者かといふことを御話しせねばなりませぬ。凡そ人と生れますなれば罪が有ます。其故自然悔改めが必要であります。罪を犯せば犯罪人で有ますが、よく教會などに於て牧師が「私共に罪が有と申ます時、おほくの人は無暗に人を捕へて、罪人呼はりにする事は失禮で有と云ふでせう。

然し聖書の內にある罪とは此世の法律の罪と大におもむきをかへて居ます。只今よみました（路加十八〇八節以下）聖句の內に有ます、税吏とパリサイ人の事に就て、考へて見たいと思ひ升。パリサイ人は神の殿に詣で、自らかく祈りました。即ち神よ我は他の人の如く强奪、不義、姦淫をせず、亦この税吏の如くにも有らざるを謝す。一方税吏の方にては、天をも仰ぎみず其胸を打て神よ罪人なる我を憐み給へと曰ひて、罪の赦を願ひましたと云ふ譬の話しで有ますが、此二人は罪に就て異なる考へを持つて居ました。パリサイ人の申しました事は、犯罪を犯したのではありません、即ち法律上の罪人とはなりません、聖書の內に有る罪は法律上の罪ではなく、神の定め給ひし律法を守りません人を罪人と申ますのです。法律を犯す者は明白なる犯罪者で有りまして、何人が見てもすぐ分りますが、只今よみました聖書の內一人の青年の話しがしるされて有ますが（路加十八〇十八節以下）其青年は幼き時より神の誡をよく守つて居まして、別に罪の有事を思ひ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ませんでした。其故キリストに來て種々質問しました時、キリストは其靑年に其財をも貧しき人に施せと仰せられました。其時靑年は其の事の出來ざるため大に憂へて立去ましたと有りますが、神の目から見れば其靑年も罪人の一人で有り升。神の誡を守りましても其の内一つ守れないなれば、矢張り罪人と申より外ありません。其れは如何なる譯でせうか。聖書に有通り人の定めし此の世の法律を敗る許りでなくして、神の定め給ひし法律を犯せば神のまへに罪人たる事はまぬかれません。馬太傳五章より七章を御覽になれば、委しく書いてありますが、あの人をない者にしたいと心に何人もしらざる時考へても其人をもはや殺す意味で有ます。又惡しき事許りでなく、よき事を知りてなさぬならば、即ち罪で有ます。眞の善は私共の考へて居ますより、もう少し廣いもので有ります。日本語で罪と申ますなれば只罪と申言葉より外ありませんが、英語には罪と申言葉に區別が有ます Crime 及び Sin でありまして、國法を犯す罪を Crime と云ひ、神の律法を敗る事は Sin と申ます。人の道を守る時に守りませんのは即ち罪で有升。其處より考へますれば神のまへに立つて淸き人と申事は中々出來ませぬ。古しへよりの聖人にても「願ふ所の善は之を行はず、反て願はざる所の惡をしらず〳〵行ふ」と申て居ます。況して凡夫凡人で有なれば、私は罪がないと申意識はないのです。暗室なれば汚ない者は見えませんが、太陽の光線が入りまる時に小さき、ほこりが澤山たつて居るのを見ます。それをしらずにいつでも私共は呼吸して居ますが、太陽の光線がはいる事によつて始めて分ります。その通り私共も罪がない〳〵と思つて居ましても神のまへにたつ時、神の光に照される時によく己の罪が分るので有り升。私共は國法を敗るのみでなく、邪念邪慾、惡しき事惡しき考へ許りいつも持つて居ると云ふわけではありません。或時は淸き美はしき考も持つて居ませうが、神の前に凡て淸淨無垢とは申されません。聖書の内に罪は種々なる譬へになつて、かいて有升。借金にたとへて有處も有ますし、先程歌ひました讃美

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

歌の如く（百七十五番）罪を重荷に譬へて有處も有ます。又私共日本國に生れしからには、國民の義務として税金を納めねばなりません。若し納めぬ場合には負債と成る樣に、人間は靈の主宰者に對する義務、言を換へれば神に盡すべき務めが有のです。其れを盡さねば神に對して負財となるのです。其義務を怠がせにする人がおほく有ますから、聖書の內に人の心を病人に譬へて有まして、私共よき事をせねばなりませんが、致しません。此立派な世界に棲んで居まして草木花の美はしきを如何に目に於て見ましても、神を讃美する事もなく、此耳は天地の音樂を聞き、神の美はしき御聲を聞きましても神の愛を悟らず、此舌は人に益するため人の德を立てるためで有るにもかゝはらず、中々よき言葉を出さずして人を罵り又僞りて淸き舌は毒舌と變ります事はよくあります。其故私共は精神的に病者でありまして、或人は弱者、跛者の樣ではありませんか。若し我々肉體の病の時には醫師にかゝつて直に其病を癒すのですが、精神的に心に病ある人はおほきにもかゝはらず、左程深く感じて居りませんが、よく考ふべき事ではありませんか。

次に神と人間との關係は、親子の關係に譬へて有升。親不幸の子供は今自らなしつゝ有事は間違で有と分る時に、當然悔改めねばなりません。（路加十五章に書いて有話しをよく御よみ下さい）悔改めれば罪の赦がいるのです。如何にして此罪を赦されるかしらん、勿論父なる神に歸らねばなりません。此罪の赦に必要の事はキリストも度々仰せられし如く、悔改と信仰で有ます。健康な人は醫者が入りませんが、病ある人には入用です。其の如く、心の病のない方は神の助けは不必用でせうが、心に病ある人は是非キリストに依つて癒される樣望みます。

又私共自らの罪を認めて願ふと云考へがなくてはなりません。斷然再びせぬと申考へがなくてはなりません。人と申者は弱い者で、幾度せぬと決心しても中々出來ません。其故キリストに依つて神の大なる力にたよりて實行せねばなりません。汝の信仰汝を救へりと云ふ程の太なる決心と覺悟を以て、キリストに從ひて大なる信仰に入りたいと思ひ升。（採眞會講演）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人と宗教（續）

田島牧師

△外國の家庭と日本の家庭

外國に於きましても矢張りキリスト教の家庭は立派なる者であり升。自分は若し此の教が、斯る立派なる人物と斯る美はしき樂しき家庭を作り得る力があれば外に何物を與へ得ずとも我が愛する日本の國に宣傳して充分であると確信して居る一人である。其人格と品性の高潔偉大なると、其家庭の云ふに云はれない所がある所と、日本の立派なる人物と美はしき家庭とを比較して、先方に一日の長のあるのは殘念ながら否定する事の出來ない事實であります。

所が近時我人士にして海外に遊ぶ者の多數は、歐米道德の腐敗を語るのである。吾人と雖ども其れをとがむるではないが、彼の一派の人士が云ふ樣に惡し樣には思はない。彼等の見界は物の半面で其觀察は皮相の觀を免れない。無理もない事で、歐米の善良なる家庭には紹介がなければ出入する事が出來ぬ。我邦に於ても然りである。外人が我邦に漫遊し來るも然るべき方よりの紹介狀がなければ、私が立派なる多くの家庭に入る事は出來ないではありませんか。ホテルに泊て見る所は何所ぞや、ガイドの連れ歩く所は如何なる場所でありますか。申惡いですが吉原などを見て、日本婦人の道德が、斯の如しと批評せば誰か其誤れるに驚かない者がありませう。日本が現に公娼制度を取て居る爲め、漫遊外人の爲め、日本婦人が如何に外國に紹介せられて居るかは、皆樣の想像以外である。是も日本人が外國の婦人を誤解して歸り來りて、其道德如何を十把一からげに申すと同樣であります。是に付て面白い話がある。

△皮想の觀察に誤る勿れ

先年タフト氏の一行がマニラに視察の爲め來朝せられた。其一行中にオハイオ州選出の國會議員で、ロングオルス(?)と云ふ人が居りました。時の大統領ルーズベルトの令孃アリス孃と結婚せられた方であ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る。其アリス嬢も一行中に加はつて居たと記憶して居ります。私は其當時此の邦に居りません爲め能く覺えて居りませんが、多分後樂園の歡迎會の席上ロングウオルス氏が或る貴族の令孃と御話中、多分御世辭の爲め藝者と令孃と比較した話を致さるゝと、其令孃は義憤を發せられたさうです。其令孃の御名前は皆様が御承知であるから申上げません。歸國後彼は母校たるオベリン大學に於て、東洋漫遊談をなされた。其席上偶々是の令孃と會話せる事に及んで、氏の申さるゝ樣、自分は未だ嘗て其令孃の一言程赤面し又恥ぢた事はなかつたと話された。其事を私は其時それを聞た友人から承りました。是は米國の漫遊客が皮相の觀察を日本婦人に對して致され、知らず／＼其誤れる批評が米國上下の人心に侵入した證據であります。日本人士の海外漫遊談も彼地の立派なる家庭に出入して、其の空氣を呼吸した事のない者の云ふ事は半面の觀察であると斷定して憚りません。

△家庭は一國文明の基礎

思ふに今日我邦を救ふて之を泰山の安に置くは、家庭をよくすることである。之れ家庭は國家生命の存する所、一國文明の基礎であります。婦人が是の教を信じ神樣の御術導とキリストの御救とによりて、家庭をよくなさるゝ事は、唯獨りの爲許でなく、實に國家將來の爲と思ひます故、玆に所感を述べました次第であります、皆樣御靜聽下さいました事を心から感謝致升。

夫に對する妻の同情

私が人の妻たる人々に對して第一におすゝめ申上たい事は夫に對する同情であります。男女間の愛情以外の同情。例へば何人の奥さんでも朝から晩まで遊んで居らるゝ譯では勿論ありますまい。或は子供の教育もしなければならぬ、或は着物も縫はなければならぬと云ふやうに、それ／＼に家庭に於ての仕事もございませうけれども、併し外に出て働く良人の苦勞と、家の中にあつてする妻なる人の苦勞と其分量を比較して見ますると、或は良人の苦勞の方が非常に多くて、家庭にあるものが氣樂に過ぎはせぬか。と申して女に男だけの働きをせよといふのはもとより無理でありますけれども、併し、いつも其邊の事を考へて夫は彼れだけの苦勞をするのであるから、自分も女ながら此位の事はせねばすまぬ、といふやうな心掛になつて欲しいものであります。（M生）

本多先生の御永眠

あゝ、われらが、敬ひ慕ひまつりたる本多先生、にわかに、永き眠りに入り給ひぬ。痛みても痛ましき限りぞかし。御遺骨は長崎よりして、本月三日午後二時、東京に送られ玉ひぬ。矯風會の諸姉はふりしきる雨の涙と共に新橋に御出迎へ申上たり。先生の御生涯中珍らしくも御同伴せられたりし副會頭本多夫人御遺骨に添てプラットトームに出立たせ給ふや、一しほの御同情にむせび一同涙に面を掩ひたりし。

御葬儀は本月六日午後二時、青山學院講堂に於て、敎會葬を以て執り行はれ、小方學院長司式の許に、奏樂あり、コーツ氏の舊約聖書、鵜崎庚午郎氏の新約聖書朗讀、平岩氏の祈禱ありて後、先生の履歴は、山田寅之助氏によりて朗讀せらる。次に井深梶之助氏及びハリス監督の説敎に移り、弔電弔詞殆んど一千通、小崎弘道氏の祈禱を以て式を終らる。會葬者二千名にあまりぬとなん。

本多先生は我が婦人矯風會設立の當時、間接に敎を垂れ給ひし事、實に大にして今此の偉人を失ひしは、我等の燈臺に雲かゝりせし心地すと、矢島會頭は惜まれぬ。われらは、聊か哀悼の意を表はさんため日本基督敎婦人矯風會總代として矢島會頭より弔詞を送りぬ

追悼會は十二日午後六時、青山學院に、十四日午後二時青年會館に於て執り行はれたり。何れも眞心深き人々の涙多き追悼會にてはべりぬ。（記者）

本多監督を悼む

小崎弘道

私は本多監督に始めて御目にかゝつたのは明治十三年、國會開設請願委員として御上京中の事であります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

爾來私は東京に、先生は始終御國の方で、教育幷に政治の方面に御運動であつて、只何か集會のある度には御逢申したのである。

十九年に仙臺のメソヂスト教會の牧師となり其後靑山學院の院長に、それから御洋行になりて歸られた時、私は京都へ參る樣になりましたから其間は御目にかゝらない。明治三十年京都を辭して東京に參つてから始めていろ〳〵な話を致しました。其の頃福音同盟會の大會ひせつ御一所に奔走し、先生は會長に私は副會長になつて先生を御助致した。此の頃福音同盟會は元氣であつて地方の傳道にも中々熱心でありました。四十一年美以三派合同成りて日本メソヂスト敎會設立せらるゝや、最初の監督となられ、三派合同の際にも本多監督が宗敎界のため御盡力ありし事は特筆大書すべき事であります。

本多監督は新島先生に能く似て居られました、新島先生が御永眠になつた事が判りまするや、各地の新聞が報道致した。葬式は十二間に十六間の假ごやを造り式を致したのは私であつたが四千人の會葬者がありました。其中には縣知事もあれば當時の元老、板垣さんや伊藤さんといふ樣なわけで無位無官の人としては實に盛大なる式を擧げましてこんな事は類のない事でありました。

本多先生の御葬式も二千名とある、靑山學院の講堂は一ぱいで、然も雨天であつたのに、先生の御永眠が總ての人に對して多大の感動を與へた事であります。

御永眠の事情は新島先生は大學資金募集のため東京へ參られたが友人のすゝめにより大磯に養生中やはり遠隔の地にて永眠せられた。本多先生もこの二三年は御衰弱と思ふては居つたが今頃御永眠なさるとは思ひませんでした。十七日に最後の按手禮をなさつて武士で申せば、馬上にて殉死せられた樣である。社會は何れの方面にも先生の御働が必要でありまして誰人も之を惜しまぬものはありません。

經歷に於ても似た點があります。新島さんは日本を文明に進めんとの考へで脫藩して米國に行かれ、歸國

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の後にも仕官をすゝめた人があつても、宗教と教育にのみ身を委ねられた。本多先生も第一回の議會に撰出せらるゝ、事と思ふて居りましたが、米國にて不思議な出來事があつてからやはり育英と宗教に熱血を注がれた。性格に於ても似て居られた。三十年二月厚生館に於て追悼演説會を開きましたとき、綱島君、竹越君、加藤弘之君、私と演説した、その時の草稿があります。新島先生の性格は、第一謙直、第二忍耐、第三至誠、第四謙遜、第五献身でありますが本多先生の寛容の點に至つては新島先生の上に出づる事は確である。本多先生は謙直であつたが又磊落な處があつた。親切も充分であつて人から頼るれば断る事が出來ぬ程でした。

今日は三教會同が行はれ、これからの傳道に於ても社會の各方面に對して斯る先輩を失ふたのは實に一の缺陷と申してよろしいと思ひます。最後に覺へたい事は一粒のたねもし死なば、多くの實を結ぶべしで、本多先生を大に惜しむならば、若い人々が第二の本多先生になる事が大事であります。先生の精神が私共に普及いたしまして、我々が進むならば天國でどんなにか喜ばるゝ事と思ふのであります。（在文責記者）

すぎこしかた（續）

矢島楫子

（先達て申すことを忘れて居りました。それは私は大へん水を見ると恐れたのでありますが、その原因は幼年時代多分三歳位の時、私を背負ふて居た人が川に行て遊ぶとき大事を取らないで、深い淵に陷ちて、その時のすごさは今までもよく身に染みて居ります。傍に親切な人が居つて助けられました。それから水と云ふものは恐ろしいとばかり思ふて決して水遊は致しませんでした）

この所に居ること十五年ばかりでしたから、私が二十歳になるまでゝありました。ずい分兄弟が多くありましたから、家の事には無頓着でありました。その無頓着なる廉を以ていつも母に叱られました事は少しも

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

忘れません。姉が郷がへりのとき、始めての孫をつれて參つたところが、非常に大事に致して居るうち姉も病氣でしたから、長く逗留いたします内、私が其子の守を致すことになると、その子をねかしつけては本を讀み、源平盛衰記、太平記、漢楚軍談の樣なものを引出して見ると面白くつてしかたがない。子供が眼をさますと、だましてはねむらせました時母は之を見て、子供をおろそかにすると申して大へんこわい顔を見せられまして、自分は私の樣な不孝な者は地獄に行くだらうと思つて居ました（この當時は寺參りを致しました故、地獄のこわい事と、自分の罪のむくいが來ると云ふ感がありました）。母に叱られましたのは十三歳の時でしたが、

さきたゝぬ悔の八千度悲しきは
流るゝ水の歸り來ぬなり

と口ずさみて現在をよくせねばならぬと教へられて後悔は取り返へす事が出來ない、本はこの後決して讀むまいと決心致しました。それ故に私は御覧の通り本は多く讀んで居りません。その頃江戸には繪入の小説もあつたさうですが、私の方にはありませんでした。叱られましたのは朝でありましたから、之をよく記憶するため、空色の袋に右の歌を書いて永い間頸に掛て居り、築地へ參つてから、守袋などを捨る時一所に水に流しました。

この當時自分は少しも滿足して居りませんでした。私の上に姉が二人もありて家の事には關係も致しませんでしたから、無常識と見られて居りました。母をはじめ、姉、兄等何かこそ〱相談をして居つても私ばかりは除物にされましたから、少く自暴自棄の風でありました。嘗て兄が「御身は何が好か」と尋ねました時「家の事は何も分りませんが父上樣が大事であります故、御滿足なさる樣に致したい、また母上樣がお弱いと何よりもつらく思ひます、母上が御丈夫でいらつしやる時は一ばん嬉しい」と答へました。この時兄は、「これでは別に馬鹿でもない」と申されました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

その後父が病氣に罹し私もその看護をいたしました時始めて人間の數に入れられたわけでございます。父も、お前の樣に暢氣なものは澁柿の樣である、

「しぶ柿の靜に秋を送りけり」と申されました。

只今の學生の方に比べますれば何もかも一向平氣で新聞紙に見ゆる花嫁花婿の樣な立派な生涯は少しも望んだとは思ひませんが、やはり一種の虚榮心もあつたのでせうか、貞女、賢婦の話を聞きますと、自分が實際に當らば、そんな命などは捨てない、もつと甘くやりたいと空想はありました。女としては苦しいところに本分を盡して見たい、人は出來ずとも自分はやつて見ると云ふ心があつたと考へます。

私の身體が丈夫で居るのは實に母に感謝致さねばなりません。質素な家、子供を大切にするといふ家に生れました爲め、水の注意、食物の適否に注意が行屆いて居つたと見え丈夫に仕込まれ、その爲め嫁しての後もずい分つらい思を致したのですが、老ひて益々丈夫なのであります。

父の役目によりて諸所から名產は始終家に送られましたが、女七人、男一人と云ふ兄弟ですから、何でも兄が一人の天下でありまして、三村へ長姉が、次は竹崎、次は德富、横井と嫁ぎ、私は末から二番目で一ばん貧乏くじを引て居りました。

十九歲の時母は沒しました。竹崎へ嫁した姉は大へん同情に富んだ人で、兄と私共の中間をとりて心配して呉れました。二十歲の時父は沒し、兄が世に容れらるゝ人ならやはり父の跡をつぐわけでしたが、自分の意見を貫す事が劇しい性質でありました故舊里に歸りました(これ迄が私の成長時代です)

看護婦となりし動機

大關ちか子

明治十五年の春初めて基督敎を聞きました時、實に其敎への聖く尊きことに感じましたのと同時に、我國婦人社會の改良を致さなければならぬ樣に決心いたし、

當時基督教會中にて有名なる植村牧師を訪問いたしました。御不在でしたから御夫人に御めにかゝり「私は今まで基督教の聖き教へを知りませんで、世の中が腐敗して居るのを歎きつゝ、空しき月日を送りましたのは實に殘念で御座います。一日も早く此の尊き教を傳道し、社會改良の資と致し度いと存じますから、これより先生の弟子として教へて頂きたい」と申しましたら夫人は「神樣の存在を認めたりや」と仰しやるので「否神の在す事は存じません、只此聖き正しき教へを守る爲神なりと教ふるのでは御座いませんか」と答へますと、「神を知らないで、正久の弟子とならうと願はるゝのは六ケ敷です、殊に神樣の教を勿體無い改良の道具に使はんとは何事ですか」と夫人よりの御言葉でしたから、私は重ねて「基督教の教理に就て深く感ずる處がありまして傳道致したいのです。未だ一度も教會に參らず聖書を手に致しませんが、必ず眞の神の存在を學ぶ事が出來ませう、兎も角も弟子として頂き度い」と申し置き其後教師の御言葉に「櫻井女學校内に新設せらるゝ看護婦學校に入學し博く教を學ぶべし」と、私は實に寢耳に水と申しませうか、びつくり致し「如何に落魄たればとて看護婦とは情ない」と答へました。先生は「君は信者になりたいと云ひ乍ら未だ名譽を望むか、名譽を望むのは罪の一つ、我々信者のする事は神の御前に善をなす、これ第一の勤なり。人は賤み誹とも神の御前に正しければ是れ爲めすべきの勤ならずや。是迄我國の看護婦は無學無識、看護の方法を知らず、看護婦と云ふは名のみにて病人の小使に過ぎず。然れば世人は之を卑しみ下等の業と見なさるゝも世界の偉人と云はるゝ彼のフロレンスナイチンゲール孃を見よ。智識も財産も何一つ缺くる物なき富有の身を以て、最大慈善の事業として看護婦と成つて起ちし以來、世界各國婦人慈善の大事業として之を歡迎し、又文明の花として開明國に咲き匂ふに非ずや。決して俗しむ業ならず、そは兎も角も吾人は父神の喜び給ふ業を撰みて御聖意をなすを良とす。地上に於て疾ある人ほど不幸の者あらじ、其病人を眞心もて親切

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に看護し、天父の慈愛を顯すは之に勝る傳道なし、天父の恩澤を口に說き以て人に感じを與ふるより其言行に顯はして天父の深き御恩澤を悟らしめざる可からず」と引續き彼のクレミヤ戰爭當時に於けるナイチンゲール孃の活動に就き懇々と說明して下さいました。孃の信仰の如何にかたく又其理想の學ぶべき所多き事を感じて居りながらも、頑固なる心はいまだ決心がつきませんで當時神學校へ通ふて居りました從弟に相談いたしますると「天職を定むる事に就ての大切な相談速答は仕兼ぬるが、君が天使と仰がるゝ植村牧師の御勸めは天父の御聖意ならずや」と申されこの一言は私に凡ての解決を與へました。私を生み育て、靈肉共に守らせ給ふ父神の御聖意ならば如何なる難儀困苦も忍ばざるべからずと決心いたし、又この業を天職と奉ずる上は、是れに堪へらるゝ丈の力を與へ給ふは信じて疑はない處と牧師の命に從ひませうと心定めて銀座通りに出ました折は、夜もいたく更けて俥一臺もございせん故、急ぎて數寄屋見附を入り草むらなりし日比谷の原を左りに右に御堀端を唯一人通る者なき眞の暗も慈愛の神の御手に引かれつゝ櫻田門、半藏門も通り過ぎ、上六番町植村先生の御宅へ參りましたのは午前一時と覺へて居ります。其翌日より女學校附屬看護婦學校へ入學、規定の學課を修めましたのは明治十九年でありました。

貧民校から大學生

△近く米國大學へ入校
△未來は萬年學校教師

下谷區萬年特稱小學校と云へば世人の知る如く貧困にして學ぶに資なき兒童を就學せしむる學校なるが此學校より女子大學生を出したる美談あり。

▲此の大學生　は去る三十六年二月九日萬年小學校に登校したる小山マツ(當年十八歲)とて淺草區神吉町十一番地大工職小山五郎吉の三女なるが當時小石川高田老松町五十番地米國婦人にてアズバン孃一日日本貧民

學校兒童の有様を視察せんと思立ち先づ萬年特種小學校に至り坂本校長の案内にて參觀したる際校長と種々の物語あり孃は深く同情を寄せ校長の言葉なれば如何なる事でも自分の出來得る限り世話したし何か注文はなきやとの言葉に校長も現在我國の貧民學校は御覽の通りなれど自分の理想は外校にも歐米の如く貧民學校より

▲大教育家大政治家　大實業家を產み出したしとありしに夫人は然らば校長の眼鏡に叶ひたる人を自分引受けて大教育家に仕立上ぐ可しと約し校長に其人選方を託して其日は歸りたり夫れより校長は誰彼と選擇せしが女子でこそあれ前記小川マツ子こそ適任なれと同女の父五郎吉とも談合の上七ケ年間はマツ子を無きものとしてアズバン孃に託し條件としては宗教的教育者でなく將來萬年學校教師たるべしと堅く契約し今より七ケ年前間女が十一歲の折孃が宅に引取らるゝ事とはなりぬ

▲女子大學卒業　マツ子はアズバン夫人の宅に引取られてよりは孃宅の家庭教師南波アヤ子女史に高等科程度の教育を受け最初お茶の水高等師範學校第三部に入學したるが後目白なる女子大學高女科に轉校し爾來螢雪の甲斐ありて愈々本月同大學を卒業する事となりたるが最初の契約の七ケ年は本月を以て滿了する筈なるが本人は一層進んで勉學したき旨を語り孃も本人の希望を滿足せしめんと茲に更に向ふ六ケ年の契約を結び外國語の素養を作るため今回女子大學英文科に入學し三ケ年の修業を終へたる上に海外の貧民兒童視察を兼ねて

▲米國ボストン大學　に入學三ケ年の學を修めて歸朝の上は萬年特種小學校教師として終生貢獻する考へなりとは世に珍らしき美談なり（時事新報）

動物を愛護せよ

安中花子譯

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○ローマ帝國の幼き王子ニロは蠅を捕へて針もて突くをこよ無き樂みとして笑ひ興じたりと。成長せしニロ帝王は猛火に呑まれ行くローマ市を望みつゝ自ら樂を奏して其音色を誇れり。げに詩人の歌のへるが如く「小兒は成人の父なり」。

○我等の貴き救主が槽の中に呱々の聲を擧げ給ひしは最も注目に價する出來事ならずや。

「軒もる白露さむきまぶねに眠り給ふ」

と、クリスマス每に我等が歌ふ言葉は實にいさゝかの誇張も無き實況なり。「槽に臥したるキリスト」何故に我等の救主は槽に生れ給ひしや？セント、ベルナルド曰く「キリストが牛と驢馬の間に置かれしは人類と獸との救主たらんが爲めなり」と。

○シヲドル、パーカー、幼かりし時一日父にたづさへられて田野を逍遙せり、偶々美しき池邊に小き龜の日光に甲羅をさらし居るを見る。幼きシヲドルは然したる考も無く直に木片を取りて心地善げなる龜を今や打たんと手を擧げし刹那、彼の中なる何物かは「此は惡事なり」とさゝやけり。驚きて四邊を見れば立てるは父のみ。怪しき恐れに胸を打たれし彼は急ぎ母の許に行きて「惡事なり」とさゝやきし物の何なるかを問ひぬ。賢き母は涙の中に愛兒をいだき寄せて斯く答へぬ。「我が子よ、成人々は之を良心と呼べり、然れど母は人の心に潜む神の聲と呼ぶを好む。御身若し之に聴き之に從はゞそは日每に明かになりまさりて常に御身の導となるべし。然れど若し背かば御身は永久の暗黑に落ち入るなり。御身の生涯の幸、不幸は偏に此低き聲に耳を傾くるや否やに依れり。」

聲無き者の我は聲なり
家無き弱者のいたみのなみだ
眠れる我が世の夢さますまで
聲無き者よ我は汝が聲。
いとほしき、うるめる眼に
言の葉知らで潜む恨みを、
もだして其子に母は敎えず、
あわれつれなき人の世の母。
然れど我は永久に守らん我がはらから、
つめたき廣野に情の花の
かほりゆかしく咲くらん日まで、
聲無き者よ、我は汝が聲。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

健氣なる志

左は目下米國在留中の某青年が、其故郷の兩親に宛て寄越し來りし書信なり。私信にはあれど今時の世に、如何にも健氣なる志のあらはれ、感ずべき節多ければこゝに掲げつ。(記者)

謹啓一月六日出の御書面拜見、種々御配慮の段誠に忝なく御禮申上候、二日前兄上樣よりも御來信此度の事に就ては一層の努力を以て其重き責任を果す覺悟云々と有之、私に於ても出來得る限りを盡して兄上の御便宜相計り度候間御安心被下度候、目下私の或地方は南加州のみならず、米大陸中同胞のあまり高尙ならざるもの多く在住し、教育なき者非常に多數にて他地方の同胞は當地方を第二の布哇とさへ言ふ程同胞の狀態一般に劣り居るやう見受けられ居候上に、從來之に指導者の宜しき者を得ず、爲に人心全く統一を缺ぎ、或は舊來の感情に支配されて理否曲直を疎外し、或は單に利慾一片に傾きて、公共の事を顧みざる者も少からず、實に豫想外の境遇に御座候、若し現在の狀態を改めざれば、眞に大なる國家の憂と相成るやう考へられ候に就ては、私の友人等は私の爲め更に安逸にしてより多く收入ある地位を周旋致しくるゝ者有之候へ共、物に思ふに若し私にして當地方の同胞を啓發するにあらざれば、或は彼等は永遠に暗黑裏に迷ひて遂に光明に接する能はず、人類全般より打算して大なる不幸と存候間、目下二十弗の月給にて五十弗以上の仕事を致居候も人道の爲天に寶を貯ふる爲なりと相忍び居申候、私ならでは恐らく今日之仕事を完全に成し得る者無之かと思はれ候間たゞ一時を忍びてかゝる薄給にて相働らき居候。時に或は臨時通辯など依賴され或は手紙代書等の禮として一ヶ月五弗以上の雜收有之候へ共、到底永く此まゝにて經過致すべき筈にては無御座候。就ては例の學校新築に關しても私の運動せる爲特別の寄附金をし得らるゝ譯にて、若し私が一旦現在の地位を辭するに於ては學校問題は永遠に葬却せられ、同胞の子弟は全く其美を發揮する能はざる結果を生ずることは鏡に映ずるが如く候間、實に人の知らざる苦しき淚を忍んで、義務と責任の爲に奮鬪致居候。神の大任を人に授けんとするや、先づ彼の心身を苦ましめ、試鍊し玉ふと靜なる私目下の境遇を顧みるに責任頗る大にして、報酬之に反し前途愈々遼遠にして、現境人の見る所願ふ儘に伴はず、勞多くして功未だ緒に着かず、誠に遺憾に存居候へ共幸にして人々の私に信賴する所多く有之候へば、愈々艱難に身を持て、此大任を盡すべく候間御祈り被成下度、二年の中には當地方同胞の風教を一變して、功果を收め、主キリストの榮光を顯し度候。學校新築は愈々來週より取りかゝり得る都合と相成り四月には開校の運びに入る事と存候。扨て御郵送被成下候萬朝報に就ては私に於ては別段何等の感を深め不申候ひしかど、たゞ彼等が其なせし、惡しき罪を悔いて正しき者となり、主に救はれんことを祈り申候。私は私に對して罪を犯せし者が罰せらるゝを見るより彼等が其罪を悔い、更めて主より許されむ事のみ願ひ居申候。此度國子等の事に就て吾等は一層正義の念を高むると

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

共に神に感謝して謙り、日々の行路を歩むべきことゝ信じ申候。

常に心掛け居るは信一の教育に御座候。「生れざる子供等は吾等の肥父を教育せよと呼ぶ」即ち信一を教育することは彼の子孫全體を教育することに候へば何卒一層の御注意被成下度、七歳即ち小學に入る迄は一丁字を學ばしむるに及ばず、たゞ身體の發育と禮讓に注意することのみ肝要に御座候間左樣思召被成下度候。勢谷も願くば靈肉健全にして神の御用の爲働き得る僕たらむことを祈居候。御兩親樣にも何卒一層の御攝養被成下度奉願上候。過般來選擇に就て種々一方ならぬ御配慮被成下實に〳〵感謝の至りに存候、前便に申上候通り此事は決して急率に御配慮被成下ましき事偏に希望仕候、百萬石の良田を得るよりも心賢しき良婦を得ることは誠に人生の幸に候へば持參金も博士號もなき者にして誠に神を畏れ、人を愛し、世の虚榮と僞善に迷はされざる清き者ぞ望ましき者に御座候故、たとへ御兩親樣はじめ皆々樣が如何に御盡力被成下候共誠に神より與へらるゝにあらざれば得ること能はざる義に御座候間左樣御承知被成下度候。且つ目下私の計畫は若し能ふべくんば、今一二年修學致度相考へ居り幸ひ大學卒業せし爲め學術く其緒に着き、之より蘊奥を極むる爲二年の後には英國に渡るか、又はコロンビヤ(米國東部にありて世界に有名なる)大學に入りて、新聞學を研究致度心組に候へば妻選擇のことは三四年の後こそ然るべき事と存候。たゞ現在の境遇が恰かも牧ふ者なき羊の群中に在るが如き身にして、若し私にして今退かば當地附近の同胞遂に光明を失ひ、依るべき柱なき家の如く相成の有樣故少なくも今年秋までは當地に止まり、兄上に出來得る限り御助勢致し、然る後出來得べくんば再び東行するか、渡英するか、又は更に進みて歐洲にて研學せんの考に御座候へば、若し完全なる良緣なき限り決して此上の御配慮被成下間敷殊に寫眞など、或は一二回の手紙往復などにて千歳後の子孫の母たるべき婦人を撰定するが如きは、聊か早計に失するやの感有之候へば何卒御兩親樣にのみかせられても左樣御承知被成下度殊に根本先生には選擧前の御多忙の間柄折角御配慮誠に忝なく感謝致居候まゝ御序の節何卒右の大略御話し被成下度、若も即座にて良緣ありとするも、私は當地へ呼寄するが如きは決して好まざる所にて一づ先歸鄕の上にて萬事相結び度心願に御座候へば重ね〳〵御撰擇御急ぎ無之樣奉願上候、此事に就て別に御兩親樣の深き御意見も相伺ひ度、何卒御洩し被成下度奉願上候。先便にて居住證明書及卒業免狀御受取被下候事と相信じ申候、願くば主の聖寵常に皆々樣を導きて新なる生命の道に進ましめ玉はむ事を祈上候、兄上樣よりは未だ御書面御伺無之候へ共、其中御送附被成下事と相待居候

敬具。

一月三十一日　　生平 謹言

那須御兩親樣

母親はもつたいないがだましよい

東洋幼稚園長　岸邊福雄

(此お話しは三月に銀座教會で開かれた母の會で遊ばしたものを御許しを得て記載いたしました)(東)

川柳に『母親はもつたいないがだましよい』といふのが御座いますが、よく或る意味に於て世の中の母親といふものを表はしたものだと存じます。

斯う申しましては或る母様には申譯けがないと存じますが、多くの母様はたしかに、「だましよい」と存じます。先日偶然に私の手に入りました一つの統計は實に此事を證明することが出來るものだと存じます。

それは横濱に上流船員の夫人方によつて組織されてある母の會が御座います、其會で父親の不在がちな船員の家庭の子供と比較的父親の在宅する事の多い醫者及官吏の家庭の子供との學業成績の比較をとつたもので御座います。

○船員の子弟　四百貳十八人
○醫師の子弟　百參十五人
○官吏の子弟　貳百八十八人
以上の子弟は皆尋常一年より六年迄のものなり

	船	官	醫
修	81	87	86.7
國	83	87	87
歷	80	80	85
數	78	85	83
地	75	90	85
理	84	83	90
圖	80	90	90
唱	85	85	85
操行	78	85	90
總計	724	777	781.7

此表によりますと家庭で復習が必要である學課は殆んど父の不在勝なる船員の子弟は劣て僅かに唱歌のみが平等なる點數を得て居るといふことになつて居ます。して見ますと實に『母親はもつたいないがだましよい』と申す川柳が無理ならぬ事を唱ふてあるものだと考へられる次第であります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

では母親が子弟にあなどられない樣にまただまされない樣に致すには如何致せばよろしいかと申ますと

◎學問が必要

で御座います。然し「此年になつて英語のお稽古もおかしなもの」また「丸髮に結ふたものが子供と一緒に學校通ひも出來ず」と、若くして勉强盛りに成さざりし事を思ひ返して御心配になつても、それは出來ることでなく、又實際それ等の事をなさるよりも實に途は近くにあるので御座ひます。學問をしようと思し召さば日々心掛けて萬事を見聞してまゐりますれば立派に一角の學者智者になる事が出來るので御座います。

先づ新聞の讀方で御座いますが大體の御婦人は新聞を御覽になるといへば第一に續きもの次に三面の記事といふ順序で大切な論説や二面などを見る方は少ない樣にお見受致しますが、實に勿體ない事と存します。

何んでも論説は必ず讀で頂かねばならぬもので御座います。お讀みになつた事が充分にお了解にならぬ事も多い事と存じますが何しろ書く人は其記事について專門に調査して後に書くので御座いますから毎日の論説を初めから終りまで充分に解たといふ事は男子でも少ないので御座います。從つて御婦人では御無理はないと存じますがそれかと申て讀で頂きませんと世間の事の大略ながらも不明になつてしまひ益々自分と世間とが掛け離れてしまうことになるので御座います。また新聞の廣告に注意すると申習慣をつける事は大切な事であります「自分が『かういふものがないかしらん』とかね〴〵考へて居つた樣なものが廣告されてあつたり思はぬ便利なものの廣告を見出したりして實に有益なものであります。然るに此二つの大切なる見方の兩方ともを御採用になつて居らぬ方が多いのは殘念な事で御座います。私は一年に必ず春夏秋冬の四期を分けて銀座通參觀といふ事を致します、四度共皆店の品物が變つて居ります、買ふ事は出來ずとも智識を廣める上に此參觀は非常に有益なものとなるので御座い升。又小學校の敎科書は必ず一讀して頂きたいと存じます

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子供の學校から歸て參りまして復習を致します時にも讀本の分は何處を習つて居るのであるかといふ事を承知して居りますと、子供も『母樣は僕の本は皆知つていらつしやる』といふ母の力といふものを知る事になつて敎育上如何許り好結果を擧げる事が出來るか知れぬもので御座います。

◎母親は元氣がなければならぬ

子供といふものは大人と違つて體質上少しの間もジツトして居ることのむづかしいもので御座います。それをよく子供に向つて『おとなしくなさい、』といふて小言を聞かせる親が多くありますがあれは實にむりな事であります。私の思ふ處では「おとなしくせよ」といふ言葉は「大人らしくせよ」「音のない樣にせよ」といふ言葉がつまつて出來たものと存じます。母親が氣持でも惡いとやたらに叱りつけて折角樂しく元氣に遊んで居る兒童等までが妙な八の字をよせて可愛らしい美しい顏をだいなしにしてしまう樣な事になるのであります。どうしても母親は元氣でなければなりません、ことはざに母親の笑顏のよい人の子供はよく笑ふと申す事がありますが、快活な子供は元氣な母親でなければ出來ぬと申してもよろしいと思ます。

小學校などの子供に聞きますと女の兒までも男の先生を好むといふのは男先生の方は元氣で共に面白く遊び學ぶから自然に子供がすくのであります。良き感化は「うれしい先生によつて初めて與へらるゝものであると致しますれば母親も敎師同樣であると存じます。

お轉婆といふ言葉がありますが子供の時には女の子でもお轉婆位で結構です、只其お轉婆のネリアゲ方がむづかしいので御座います。

◎果斷といふ事が欲しい

女の方の買物は實に定まらぬのであきれるとは實際の事で御座いませう。自分で定めて決める事の出來ない爲に何程仕事がおくれて時間を消費するか知れません。買物の時などは只此位の損失かも知れませんが子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

供を教育する責任を有てゐる母親が、只やさしいとか愛心が深いとか申す事のみで、若も確固たる決心を以て一時は苦痛とも最後には必ず子の爲になると知れてゐる事柄を處理する時に、果斷の心がなかつたなら遂に取り返しのならぬ樣な不幸を見る事の出來るのであります。父親にのみ依賴して居る母親の手には決して良き子に育てる事は出來ぬので御座います。どうも母親は一般にやさしいのみの樣に思はれるのは考へてゐたゞかねばならぬと思ます。父親の不在勝な海軍々人の家庭の子供が多く泣きむしであるといふのもつまり母親のみのやさしい手に育てられ豪毅な性がつけられぬ故でありませう。最も母親の手一つに育られた子弟に立派な者の出る事もありますがそれは必ず其母親がやさしいばかりでなくシツカリした人であるので御座います。今の大學總長の濱尾新先生は早くも父親を失はれ母親の御手で養育された方で御座いますがあの樣な立派な方になつて居られます。實にお母樣が偉大な方であつたさうです。また先生の青年時代一人で東京に學問に出て御出になつた時分お國から衣服が送つて參りますと先生は先づ開かぬ先に其包をおし頂き母親の在ます方に向つて禮して後其衣を出し見られたさうです。出た處の衣は手織のもので今の青年達ならば決して着さうにもないものであるのですけれども尊敬し有難く思母親よりの贈物に對する先生の心は品物の如何なのとには少も思が至らず感謝してお受けになつたので御座いませう、父なき子で母を尊ひ敬ふ此心は決して偶然に起るものでは御座いません。全く母親の常々の育て方によつて得られた賜もので御座いませう。『可愛い子は五つ教へて三つほめ、二つ叱つてよき人にせよ』とあります。實に此通りで五つ教へて三つほめ、殘りの二つも叱る時にはよく考へて叱らねばならぬ。初めから叱りつけて小兒を教育するのは確に間違てゐる事でありませう。

とにかく母親は育兒といふ大責任を負ふて居る事で御座いますよくよく注意して此責任を全ふして頂きたいものと存じます。

家庭も亦學校なり

三輪田眞佐子女史談

昨今女學校の卒業生は主婦として充分の資格が無いと云ふ非難が聞えますが、私は此事實は決して學校の罪ではなく卒業生御自身が卒業後の御心得が悪いからでは無いかと思つて居ります。

元來高等女學校の教育方針は良妻賢母でありまして此方針に依て普通教育の外に割烹や裁縫や家政や精神教育に重きを置いて只管良妻賢母を養成する事に致し斯樣して家庭の主婦に必要なことを學理的に教へるのです。然るに卒業生の中には學校を卒業すれば早や既に凡ての資格を備へてるやうに考へて天狗になり濟し兩親の膝下に在りながらも親を補佐して家政を整理するをなどは少しも念頭に置かないのです、之が爲め一度び嫁に行くと大變に魔胡附いて失敗ばかりを續け不幸な境遇に陥ることになるのです。

私は女學校の卒業生のお方が嫁入された後不幸なる境遇を見るに附け切に卒業後に於ても補習學校か他の專門學校に居る心得を以て實地に學んだ所を應用研究なして頂きたいと思ひます。然るに女子教育家中には折角學校で教へ込でも悪い家庭があると之を破壊して了ふものがあると言はるゝ人もありますが、私は如何なる悪い家庭でも家庭的教育を受けた卒業生の思想さへ堅實で家庭を專門學校の教場と思つて熱心に兩親を補佐して居られたら自然と家庭の悪風を改良する事が出來得るだらうと存ます。然れば家庭では駄目だの、私は既に立派な家庭の主婦たる資格を具備してる抔と自負心を起さないで卒業後家庭に居ても更に進んで專門學校に入學した積りで其學習した所を實地に巧く應用したいと云ふ考へを片時も忘れない樣にして貰ひたいものです。

料理

○櫻飯 中くらゐの蛸を茹で、足を一本づゝ薄く小口切になし、飯に少し鹽を入れて仕掛け、煮え立つとき蛸を振り入れ、移すときよく交ぜ合はせ鰹だしの澄汁に、おろし大根、三ッ葉の小口切、もみ海苔の香料を添へて出す。

○玉子どうふ 玉子をほぐし、之に其量の二倍丈の煮出しと、玉子の量の三分の一の醤油を加へ、よく混ぜ合せ、薄き丼に入れ、之を蒸器の中に入れて、蒸籠の蓋を五分程あけ、三四十分間弱火にてむし、蒸籠より取り出し、金杓子にて一掬づゝ切り取り、椀に盛りて汁をつぐべし(この汁はうすき煮出しに少し鹽を加へ味を見て醤油を極く少し注す)(赤堀氏口演)

○琉球汁 雞又は牛肉を半斤許細かにきり、水一升位にて二時間許煮て、スープを作り、スープを煮る時同時に糸こんにやく、にんじん、椎茸、其他何品にても菜類二三品を細かに刻みて煮るもよし。而して白胡麻を煎り、擂鉢にてよく擂り、前のスープを少しづゝ入てとかし、肉と野菜と共に入れ、大丼に入れ、紫蘇、蕃唐がらし等を刻み、皿に盛り、各々食卓に出し、茶わんに飯を盛り、右の汁をかけ、香料を添へかきまぜて食すべし。略には鰹のだし汁にて、はんぺんをさいの目にきりて入るるもよし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

リービット夫人

△米國ボストン市、トランスクリプト新聞所載▽

メレー、クレメント、リービツト夫人は二十五年前、矯風會事業擴張の爲め、渡海して日本に來り、實に吾が日本婦人矯風會創立に盡されし婦人であります。

夫人は西暦千八百三十年九月二十二日、北米合衆國ニウハムシヤ洲ハプキントン市に生れられ、父はジヨシヤ、クレメント氏にして、母はエライザと申しました。父は牧師の聖職に在られたから、夫人は幼少より既に宗教々育を、家庭に於て受けられました。學齡に至りて小學の門に入り、後高等小學科を終へて、西ニウトン市の師範校に入り、常に學績優等にして、級の首席を占められたのであります。

千八百五十八年六月三日、トマス、エーチ、リビツト氏に嫁し、以來時を隔てゝ所々の小女學に教鞭を取り、千八百五十四年より同五十八年迄、ボストン市々立ホレストン街、高等小學の副校長に擧げられました。又ボストン市に私立校を起して、千八百六十七年より一千八十八年迄、之を經營せられました。

夫人一生の事業は、矯風會事業であります。ボストン市の矯風會創立には、夫人の力大に與つて居るのであります。夫人は又マサチウセス州議會教育會の一委員であります。夫人は實に婦人演説者として成功せし人であります。千八百八十三年より、同九十一年までの演説旅行は、實に數千哩の里程に渡り、大陸を横斷し、オーストラリヤ國、サンドウ井ツチ諸島、ニウジーランド、亞細亞、亞弗利加、歐羅巴、と經歷されたのであります。

メキシコ、中央亞米利加、南亞米利加を訪ひ、再びサンドウ井ツチ諸島に至つて、本國の米國に歸られし時の如きは、二千萬里を跋渉し、翻譯者の力を借りて、言語を異にする國民に矯風演説と、基督教の眞理を解かんと試みられし其數は、甚だ多く、即ち佛教徒、ブラマ教徒、マホメツト教徒、猶太教徒、羅馬教徒、ギリシヤ教徒、其他迷信に沈溺するヒルマ國人サイアル國人等でありました。

萬國婦人矯風會は、終に紀元一千八百九十一年よりリピツト夫人を終身名譽會頭と致したのであります。

夫人は亦婦人著者としての功績も、蓋し大なりと申されはなりません。禁酒論、及廓清事業の著も少なからず、其他所々の雜誌新聞紙に、短篇小説、又は詩を掲載せられた數も少なくございません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

覺え帳の中より

益富生

▲根本夫人の眞面目な事には感服する。廓淸會が經營費の爲に慈善演藝會をするに就て、切符賣りの依賴をすると、どうして賣らうかと淚を流して祈禱されたさうだ。而してお土產持參で戶每に知人の處に出掛けて行つて、買つて賴むといふやり方、其處で餘程資本金かけての切符賣だとの事である。

▲島田夫人より之を聞に、興業銀行の添田博士は、島田夫人なんどから切符賣を賴まれて、ツイぞ無氣に歸した例はないさうな。のみか金が集つたから取りに來いと云つた事もない。必ず切符の賣上代金に丁寧な書狀を添えて、『いつもながら社會の爲に御働き下されて、忝けない』と禮をいつて來るさうな。

▲神戶で渡邊婦人矯風會長と共に、グレゴリー氏を停車場に見送つた其日、今日は廓淸デーとしやうと云ふので、神戶に於ける知名の士を、片端から訪ふ事にした。先づ第一に山本氏を訪ねて、早速贊助會員たるの承諾を受け、それから或人を訪ねやうとして、道を步いて居ると、橘小學校といふ看板が右手に見えた。吾々は、平素小學校の敎職にあらるゝ人々が、今少く此問題を理解して居て頂戴せねばならぬと感じて居るので、知らぬ人ではあれど、善は急げ、物事は進擊的でなくてはいけぬといふので、ズーッと這入つて刺を通じた。すると喜んで迎へられ、暫く話をした後、いざ歸らうとすると、校長は、まだ一時間だけ暇があるから、も少し聽かして下さらぬかと、私等を押止めた。併し忙がしいので、無理に御暇して歸らうとすると、神戶の縣立病院の婦人科長たる村岡千仭氏に紹介してくれられた。吾々は少しも知らぬ人である。知らぬ人から知らぬ人に紹介して貰つて、廓淸會の趣意を話すと、村岡千仭氏早速贊成贊助會員となられた。たしかに、ものは進擊的に限るとつくゞ思つた。

▲富永夫人が急がしい中をよく繰合して種々の集會に出席されるのは感心いたして居る。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

朝鮮旅行記

△朝鮮に於ける矯風會運動

神戸 渡邊常子

十一月廿一日 午前九時、偶々、篠田院長、同令息、原島氏及び川夫人諸水姉等に見送られて、南大門驛を發し、平壌に向ふ、京城より平壌迄は五拾里の道程なり。午後三時過ぐる頃同地に着、高橋牧師、白戸、森川、天谷、渦澤、諸兄姉の出迎を受け、デビス姉は美以米國敎師館に、小妹は控訴院官舍村上雄吉氏宅に到り宿る、當地滯留中は同家にて懇篤なる待遇を受けたり、同夜天野氏宅にて組合會あり、之に出席して勸話を爲す、來會者拾數名。

同廿二日（雨） 午前、高橋夫人に白戸牧師との案内にて、永島控訴院長夫人、松永府副長官、同夫人、及び篠田内務事官等を訪問し、午後二時より愛國婦人會の主催にて、笑陽クラブに婦人講演會を開催せられ、之に出席す。デビス姉は「歐洲に於ける矯風の事業」小妹は、「敎育と矯風」と云ふ題にて語る、來會者は西洋女敎師拾數名の外に松永長官夫人、永島控訴院長夫人、篠田内務事官及び同夫人、朝鮮婦人學校生徒等合して百有餘名なりき。

同廿三日（雨） 午前、高橋姉の案内にて信徒の宅を訪問す、午後二時より美以敎會の開催に係る婦人會に出席し、デビス姉は「奉仕」小妹は「婦人と傳道」と云ふ主意にて語る。來會者凡そ三拾有餘名。此の夕日基宣敎師中錚々たるマフェー氏の招待を受け、デビス姉と小妹と其宅に到りて、卓上同氏が廿八、九年間鮮人の爲めに傳道上、苦鬪せられたる實驗談を聞きて、大に益を得、言々たゞ敬服の他なかりき。夜に入て同家を出づ、余は連日の雨にて泥濘甚しく歩行し難ければ、鮮人二名に擔はる、他に一名油燈を手にして案内す、然れど言語不通の爲めに途を迷へ行手を誤り、辛うじて夜の十時とおぼしき頃、村上氏の宅に歸り着きぬ。

同廿四日（雨） 午前、高橋牧師の案内にて求道者の宅を訪問し、午後三時より坪川氏の宅にて小會を開き、其夜七時より組合敎會の演說會に出席す。小妹は「愛憐の歌」に就て語りデビス姉は「他の博士」てふ題にて奉仕の意を說かる、來會者は五拾名餘なりき。

同廿五日 午前、高橋牧師の案内にて求導者の宅を訪問し、午後には大關氏宅にて小集會を開く、來會者男女拾二三名あり。此夜齋藤氏宅に開催せられたる禁酒演說會に出席す。デビス姉は「敎育的禁酒の要」に就き小妹は「高麗婦人矯風會の起元及び事業」につきて語る。來會者は四拾名。

同廿六日 午前、敎會禮拜に出席す、午後平野しづ子姉の宅にて小會を開く、同夜七時より、敎會の夕の說敎會に出席し「人格修養」の題にて所感をのぶ。此頃打續きたる降雨にて街道一面に凍氷し、歩行に難く、時刻も亦遲くなりたれば、當夜は坪川氏及び同夫人の厚意にて同家に宿れり。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

同廿七日　曇天、午前十一時の列車にてデビス姉と共に平壌を出立し鎮南浦に赴く、此行程三十七哩。こゝに着すれば本多府尹夫人、押川夫人、川本等の諸兄姉出迎せられ、直ちに明月樓に投す。此日午後より降雪頻りなり、宿に乞ひて高下駄傘を借り、雪を冒しつゝ川本氏の案内にて本多府尹の宅を訪問す。同夜は美以教會説教所の演説會に出席す、川本氏司會せられデビス姉は圖解もてアルコール飲料の身體に及ぼす害毒を說かれ、小妹は「矯風同盟」に關しての話をなす。當夜は生憎に例の大雪なりしも本多府尹、同夫人、阪田民團長、同夫人、松田氏等諸兄姉來會せられ其數四拾名許に及べり、一同感謝に滿ちて十時閉會せり。

同廿八日　朝、窓を開いて銀世界の鎮南浦を眺む、其景絶佳にして譬るに物なし、此地は彼の有名なる大同江の河口にして、平壌の門戸に當れり。然れど冬季は大同江氷結するによりて其交通の便、閉さると云ふ。前なる小島のたゝずまひ恰も繪の如し、恐くは朝鮮第一、二の勝景ならんか、現住の邦人目下四千人ありとかや。午後講義所にて婦人會あり「聖書に基ける愛及び奉仕」につきて勸話す。夕方本多府尹及び夫人の厚意にて、數名の者同宅に招かれ、卓上矯風事業に關して互に懇談をなし、感興盡きざりしが、翌日を期して平壌に約せし事あれば、別を告げて本多氏、同夫人、阪田氏、同夫人、松田、川本等の諸兄姉に見送られ、感謝に滿ちて七時過る頃、鎮南浦驛を發し、九時中頃平壌に歸着せしに、此處にも數名の兄姉寒天をも遠路をも厭はで驛に出迎はれたり、デビス姉は鮮人二人に擔はれてマフエー宣教師の宅に赴かれ、小妹は大關夫人及び令息の案内にて同家に伴はれ往きて宿る。

同廿九日　午前、高橋牧師の案内にて數軒を訪問し、午後同牧師及び數名の姉妹と共に[illegible]く且つ泥濘甚だしき小路を通りて、平壌第一の大教會なる日基教會の婦人講演會に出席す。デビス姉は六百餘の男女に米國女教師の通譯して「飲酒喫煙の害毒」を說かれたり小妹は婦人傳道會を代表して一同に挨拶せり、斯くて此集會は豫定の時間より少しく後れし故に、口せかるゝまゝ鮮人二人に擔はれて驛に到る。途中彼等の悠々たる様に氣も心ならず乗物より途中に下りて、駈けつけたれば、漸くにして三時四十分發列車の間にあひて平壌を出立し京城に着せしは同夜の十一時なりき。デビス姉は李花學堂に小妹は鐵居姉の宅に到れり。

同三十日　今日は十一月最終の木曜日にして即ち米國の（サンクスギブン、デー）感謝祭日なれば、デビス姉には大切なる紀念日なり在京城の宣教師諸氏と打集ひて「デンナー」を共にし、一日を樂しく消日せられ、小妹は午後訪問に出でたり。

十二月一日　午前、岡水姉と共に訪問す、同夜教會の親睦會に臨み平壌及び鎮南浦旅行中の物語をなす、翌日デビス姉の盡力によりて西洋婦人間に矯風會設立せらる。

同二日　デビス、岡水、蜂谷の諸兄姉と共に龍山に赴き、信者并に求道者の宅を各自に訪問して、夕方京城に歸り、武川氏宅にて數名の兄姉と共に晩餐會の饗應にあづかり同家にて一宿す。翌日午前、教會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の禮拜に出席す、渡瀬牧師の說敎あり。午後二時より京城二五新會社々員の催にて廣通館樓上の大廣間にて演說會開かれ、之に出席して、「敎育及婦風」問題に關しデビス孃に兩人にて勸話をなしたる後、日基敎會の井口牧師が「人の價値」てふ題にて面白く滑稽的に語られたり、來會者は岡崎社長及び同夫人始め社員百名餘なりき。

同四日 午後、井出房子姉と共に朴貞子姉を訪問す、姉は余が先年滯京中求導者たりしが、其後受洗せられし物語及び姉が先導となりて昨年春以來敎會堂新築のために金壹萬圓を募集せられし實驗談を聞きて、感謝の念溢れたりき。

同五日 岡崎、齋藤、渕澤、丹羽、織居、原島、曾田、森、西村、井出、坂垣、小川、武川、福永等の諸兄姉に見送られ、午前九時京城南大門驛發に乘車して歸路につく。龍山にても安村、坂本、大塲の諸兄姉に見送られ、同午後四時頃大邱に着せしに、諏訪、池田、永井、桂の諸兄姉も亦此處に待受けせらる。デビス姉は米國女敎師宅に、小生は桂姉の宅に宿る。同夜七時より日基敎會にて婦人會を催され之に我等兩人出席して勸誘す、來會者は凡そ三拾名餘。

同六日 午後二時より日基婦人會の例會あり出席して勸誘す、來會者拾三四名あり。此夜復た諏訪典獄の宅にて集會あり、之にも出席をなし「婦風問題」に關して勸誘す、來會者三拾名餘。

同七日 午前八時、大邱を發して釜山に向ふ、藤田、長谷場、秋本、時代姉等に出迎を受く。午後婦人會に出席してデビス姉は「婦風問題」小妹は「婦人の使命」てふ題にて愛隣の敎につきて語る、來會者廿名餘なりき。また敎會の姉妹方に乘船場まで見送られ、八時頃我等兩人は對馬丸に乘込みて釜山を發す。月さやかにして銀波海面にきらめき、其美言ん方なし、デビス孃は昨夏以來長途の旅行其疲勞さこそと思ひやらる。小妹は僅か四十日間の旅行なりしも尙ほ疲勞を感じ、心身兩ながら綿の如くなれば、惜しき月をのこして眠につくや、直ちに華胥の夢を結びて船體の動搖も知らで一夜を過し、八日午前豫定の時間に下關港に到着す。デビス孃は猶引つゞき長崎に着き、同地の活動に應援せらるゝにつき船中にて別を告げ、其歸京の途次神戸にての再會を約して、小妹は同船者なりし札幌の原久子姉と其兄と諸共に、小船に移り、棧橋に着きて上陸せり。凡そ二時間を待ちて新橋行急行に乘車し神戸に歸着せしは同夜の十時過なりき。茲に傳道會及び矯風會を代表して各地集會に出席し又勸誘せし數を改めて掲ぐれば左の如し

京城	十三	平壤	拾一	仁川	二
鎭南浦	二	大邱	三	釜山	一

合計　三拾二回

斯て滯在往復の日數を算すれば四拾日にして、其間天父の恩惠と各地諸兄姉の熱誠なる補翼とによりて奮鬪努力の好機を與へられ、稍か朝鮮に神國擴張の働をなし得るに至りしは喜しき事にして、主に感謝し深謝するの他なきのみ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

入峡の記

守屋東

春雨漸く晴れて美しき日の光を仰ぎつゝ車窓より見渡す連山遠き處には猶雪殘る誠に寒かりし冬の日を思ふて今回の旅の春なるをうれしと思ひぬ。

新宿の停車場を出でしはあさの五時すこしすぎなりき、甲州路は道嶮はしと聞きしはすでに過ぎし日の事にて今は便利なる汽車の只トンネルくぐる事の多きのみ、何の苦もなく日本一といふ笹子のトンネルもすぎて、しばし進む程に山開らけて廣き〲平野に出でたり、かゝる山又山の奥まりたる處にかくまで廣き處のありしかと驚かれぬ、中央をうねり〲と渡るゝ川も大かたは水なく大なる石のコロ〲と前年の水害のなごりと見たるも後にて聞けばあやまたぬ事なりき。

すゝけなる顔して甲府停車場に着せば英和女學校の神子田先生御迎へ下され共に學校に入る、山の中腹を開きて新築せる校舍の樓部には得がたき場所とうらやまれぬ、靜かなる處に妹の室與へられ旅のつかれやすめよとゆきとゞける御もてなしにしばし夢路に遊ぶ、醒めて後婦風會頭ミスアルコーンと運動の準備につきて御相談す、一週間滯在の心組なりしも御熱心なる御準備と働きのあるまゝに二週間を此地に留りて働く事に定む、日に〲小學校、婦人會、母の會さては日曜學校大會などゝうれしき集りの數々早や明らかに豫定され交渉されてありき、いつもながら各支部の姉妹がたの行きとゞける御準備とお働きの御様子とには感ずる外あらじと思ひぬ。

「私共西洋の者が小學校や一般の會に出掛けて禁酒の話を致しますと禁酒禁煙の主義は西洋のもので日本の人には關係のない事の様に思はれて困ります、然し此度あなたが御出下さつて諸處で御話し下さるれば人々も日本人の口から聞く事は日本人の事であると思ふて非常に幸です」

とアルコーン師は語られぬ、果してこれまでに信じて御用ひ下さる姉妹たちに御滿足のゆくまでに働き得るや否やと心にあやぶまれぬ然し總て己の力にあらずして皆神の御力に歸して行へば必ず成功する事はあやまりなしと勇氣を出して「致しませう」とお答へしたるなりき。

日曜學校の生徒大會を開きし折には千人近き子供等集まり聞きし禁酒の話を家庭に歸りて人々に聞かせたるよし其後小學校の先生また父兄に御面晤の折々「兒童の熱心には驚きます」との事を度々きゝ感謝したる事なりき。

甲府の町にては小學校四つ裁縫女學校一つ、婦風會一、母の會一等を催したり、婦風會の集りにては九名の入會者を得、附屬小學校に行きし時は主事先生が飲酒喫煙家なるにもかゝはらず熱心に小兒等の主義を賛せられ猶更小供の時に此禁酒禁煙の主義を鼓吹する事の有力なる方法なりと　されて且自分も何れかやめませうと約されてお別れ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

しぬ、特に此先生の爲に神の御力のかはらんことを祈る。

甲府市は昨今 水道と瓦斯との新工事ありし爲に途は非常に悪しく降りつゞきし雨の爲に恐ろしき迄にいためられし町々も つゞく天氣と吹く風に、かはきて充分と迄は行かぬも働きに苦しむ程にもなき樣に至りしはうれしかりし事なりき、甲府市の近在の町 村に日々出掛けたり、韮崎、日下部、鹽山、市川、玉幡、と廻りぬ、玉幡をのぞく外は皆其土地の小學校に行く多き處は四五百人より 少くも二百餘名の生徒に禁酒につきて語る、特に幸なりしは韮崎の小學校に行きし時なりき、あだかも同郡の各學校の職員皆會合され居りしを以てそれ等の諸先 生方も妹の話を御聞き下されし上に 禁酒の必要を解くために用ふる圖を熱心に御覧頂きし事は何よりの事なりき、 玉幡にて新海諒六氏の製糸場にて同じく禁酒につきて三十分工女百五六十名の姉妹に語る、常にアルコーン師此工場に少年 新報を配布され居らるゝ故を以て一層工女等妹の話を熱心にお聞き下されしはうれしかりき、後にて伺へは三十分位仕事を休む時は一人につき三錢位の手間を工場主か損失する事になる由、實に大なる金錢 上よりは損失なるも顧みず時をお與へ下されし事を深く謝し工女等の上に淸き御手の加はらんことを祈る。

女學校に働きおへて歸ればあたゝかき 姉妹方は常に妹を慰め勵まされて數へられたり、八ヶ嶽おろしふきおろして寒き日もシト〳〵と降る雨の日も變る事なく神の御言葉傳へん爲に 遠きは六里も離れし里まで若き姉妹等が熱心に働きに出でらるゝ樣見て、今更の樣に傳道事業に從事さるゝ姉妹の尊ぶ可き事を深く感じぬ。

諸々の集りにて入會 されし婦人の數五十九名に及びたり、全く神の御慈愛と姉妹がたの心ゆくばかりなる御準備の 賜 なりと感謝して、再に車中の人となり、多くの會員 諸姉に送られて都に歸る、美しき雲の景色を窓子よりながめて白き都に入りしは十三日なりき。

再び在峽 中厚く御もてなし下されし姉妹方に感謝します〳〵主義の爲に手をつられてつくさばやと謝詞にあはせて願まつる。

各支部の方々へ急告

御多忙中恐入候へども、大會も近く相成候間本年度義務金可成御早く下名まで御送金被下度候。

東京市赤坂區南坂町廿四番地
本部會計 小崎千代子

有給書記手當毎月不足の爲、本部會計を煩し遺憾に存候間、可成御都合の上下名迄御送金被下度願上候。

東京市市ヶ谷佐內坂町九番地
書記會計 富永延子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

をとづれ

◉本部だより

四月十二日午後三時より市ヶ谷佐内町九、富永夫人宅にて常置員會を催し、會頭司會の下に前會の記錄朗讀、出席員の點呼をなす小崎、パンフハインド、スペンサー、デビス、矢島、根本、守屋、富永、高原の諸姉共に議せし件左の如し。

○ミセスサッチャー（軍人課長）の御着京は五月八日に變更となりたるを以て、九月午後三時より六時迄の間に芝三田フレンド女學校ボールス氏方に歡迎をなす事

この件につき靜岡より交渉ありたれば直に返事を出す事

○大會プログラム委員は左の如し

矢島、小崎、井深、守屋、デビス、高原の諸姉とし、委員會は十五日午後三時に開會の事。

○工女課主任三浦姉米澤へ御轉任に就き、後任者撰定の件はミスパンフハインド及小崎姉に依頼する事。

○慈愛館々長ペシロット姉の歡迎會は五月四日とし、午前十時より十四人の理事會を開き午後一時より歡迎會をなす事、但し委員は明日理事會にて取極る事。

右終りて富永姉の御厚意になれる茶菓の御もてなしありて樂しく會散ぜしは六時なり。

大會プログラム委員會

○四月十五日午後三時より、會頭室にて委員會を開く會頭の祈禱を以て開會、出席委員は矢島、小崎、杉本、デビス、守屋、井深、高原の諸姉にて別項の通り決定す。

◉弘前支部

十二月十六日午後一時半より、會堂樓上に於て暮年會を開く、支部長司會の許に、讃美聖書朗讀、山鹿よし子姉の祈禱の後、司會者は賢夫人として最も名ある女王エステルの興味多き話を紹介せられ、人には生れながらにして與へられたる長所あり、或は才智、或は能辯、或は美顏其他種々あれども、其用ひ方如何によりて自他の幸福ともなり又禍となるものにて、エスラルは自國の民の危難を見るに忍びず、わが生命を賭して天與の才智と美顏を利用し、夫を諫め首尾よく國民を救ひたり、我等も及ばずながら幾分なりと之に習ひ迎へん新年には各々の長所を善用し、家族の中に又交はる人々の中に幸福の基たらんことを心がけたきものと痛切に勸めらる。夫より會員各自一ヶ年間の所感を洩らし、互に慰め勵まされつゝ黑瀨なが子、高杉つる子兩姉の厚意になれる茶菓を喫し惜しき別れを告げしは四時なりき。

一月廿五日午前十時より元寺町教會堂樓上に於て例會を開く、會頭高谷とく子姉病氣缺席のため、副會頭黑瀨なか子姉代りて司會せらる。讃美の後ち山鹿いと子姉の祈禱、山鹿よし子姉の聖書朗讀、書記前同記錄朗讀の後ミスグリーフヒスの講話に移る大要左の如し

私は御國の言葉で皆様の前に御話しすることを誠に憚り多く思ひます、が私は米國に於て見た、アルコールの恐ろしい魔力におそはれない様に皆様に御警告申上たい切なる心から暫時御話を致します、英國の宰相グラッドストン氏がアルコールの損害は戰爭疫病飢饉の三ツを合せたるよりも大きいと申されました。日本はアルコールの害毒を一層強く受けない内に家庭の中からは勿論、社會の中から取除くことは最も安全であると思ひます。今から二十二三年前に私の故郷オハイオ州で一人の立派な博士が居酒屋廢止の運動を熱心に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

したので敵の爲に無慘にも殺害されました、然かし此の主唱者の一人は、斃されましたとて、禁酒の主義は中々たほされません、其後も不思議な程に勢力はびこりまして今日ではオハイオ州は條件付の制度が免されてある爲め或る一部は酒の販賣をして居ますが先づ禁酒の州となりました。私は明治四十一年に合衆國に歸りましたが、禁酒の盛になつて居るに驚きました、御承知の通り米國では酒の問題は最も大切な一つになつて、政治上の問題になつて居ります、政治上にも禁酒黨と申して大統領選擧の時などにも、其黨派からやはり候補者を禁酒黨にするのです、只今の處未だ禁酒黨から擧つたのはないですか、其勢力はいよいよ盛になつて居ります、然かし純潔な正義に向つて酒の勢力は實に巧妙で強く、又中々狡猾な手段で戰ふので、我々人間にとつては困難でありますが、活ける神の力によつて、一己人は勿論、一國民を酒の鎖から解き放して勝利の中に自由を得ることが出來るものでありますとてこの六年間合衆國の禁酒問題の進步の度を示したる明確なる圖を示し痛切に講話せられ一同大に益せらる、當月は例年の通り役員改選の筈なりしも會長缺席のため次回に延ばし一同讃美を歌ひて一時閉會を告げ、夫より高谷、菊池、工藤、古田、諸姉の厚意になれる茶菓を喫し、尚諸姉より寄附せられし福引等ありて後新年の事とて一同かるた遊をなし愉快に時の移るも忘れ四時半散會せり出席員三十名　書記高杉つる子

● 藤岡支部

三月十三日(火)午後一時より多野郡小野村字中島村栗原たか姉宅に於て例會を開く、折よく和田牧師御出席になられし爲、牧師の司會の許に讃美祈禱を以て開會す。前橋よりペツトレー牧師を迎へて說教を乞ふ、題は平和と恬靜(ペテロ前三章)に付へ最も適切なる講話あり、一同滿足を得て十時後親睦會に移る。ペトレー師の獨吟もありて未信者の心に深き慰めを與へたり散會は午後五時會集三十餘名　書記高津つる子

● 山梨青年部

年改りて青陽の光天地に滿る四十五年一月十八日例會を講堂内に開く。出席員約八十名會歌の合唱、祈禱あり、書記、會計通信の報告あり、會長は人格を高めん事を語られ、尚役員家を訪問せし事、金錢物品寄附を以て慰問せられし事の美談を聞き一同會を散ぜしは定時

二月九日本校講堂に於て、懇親禁酒演説會を催す、大島中學校長、内藤、雨宮の兩教師審判官となる。各演士は皆全力を以てなされ、賞與決定に苦しまれたりしも中澤姉メタルを授く。本日は午後の學課をこの爲めに割き三時閉會す。

三月七日午前十一時より例會を開く。會長司會の許に開會、少年禁酒軍守屋先生わざわざ御光來ありしを以て喜びて御むかへ致し同姉は極めて有益なる講話をせらる「新年道德の根柢は我等婦人にあるを以て矯風會員は大に奮勵すべし」と熱心に說かる。一同大に感動せられたり、會集者の多數は會員なれば新入の方もなかりしが皆奮勵の精神を增進せる事は疑はし、集會者九十名。書記須田きよ子

● 婦人新報代金領收

一金七拾錢　(四十五年分)　三木すゑ子
一金一圓四十錢(四十四、五年度)　小澤朝誠
一金拾圓　(三月分)　大阪支部
一金二圓五拾錢(四十四、後半)　ガンドレット恒子
一金七十錢　和田あい子
一金六十錢　石井久子
一同上　齋藤茂子
一同上　星野きよ子

〈前號正誤〉○○○○○　宮崎しま子八圓八錢とあるはオーグランド婦人矯風會の誤りに付訂正。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京深川區西森下町四十七番地
電話本所一八五二番

荒木産婦人科醫院

院長 荒木宗吉

（入院應需）

診察時間 午前八時より正午迄
午後往診とす

斜視

眼科 一般 特に 成形手術

（本院）牛込區市ケ谷田町三の廿新見附外
（分院）府下中澁谷宮益坂下踏切角

入院應需

畑眼科醫院

電話番町一八六六

東京市麴町區一番町十四番地

聖母堂産院

隨時入室 姙娠分娩共に
懇切を主とし且つ廉價に
取扱ひ申上候

産婆 高水幸子

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲品行方正にして身體健全なる者

看護婦募集

東京神田區猿樂町一九番

大關看護婦會

電話本局二二五二番

產婦人科
小兒科

鷲山改め
女醫 吉岡彌生

△院長診察 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後

產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京市麴町區飯田町四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話番町二二五七番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本興業銀行總裁 添田壽一君題字
三井銀行常務取締役 早川千吉郎君序
星野行則著

見學餘錄

定價七十錢 郵稅八錢

著者は加島銀行の理事、少壯銀行家の一人なり昨冬歐亞米の長途の旅を終へて本書を著せり。支那、南洋の眞相を記述せるは言を俟たす、進んでヨオロッパ各國を首め新大陸の產業、社會、國富、敎育、宗敎、美術、工藝の諸問題を拉し來り各國興廢の跡に鑑み、櫻さく新日本の興隆に資せんが爲めに記述せる論策建議なり矣蓋し新進少壯實業家が經國の大義を眞率に直截に發表したるのみにして、行文痛快、事實正確、論評銳利、苟も世界進運の機微に觸れんと欲する大方の士人は一讀せざるべからざるなり。

英國劍橋大學敎授ソオレイ氏著
マスター、オヴ、アアツ千葉鑛藏譯

新刊

晩近倫理思潮の傾向

クロース最新式裝釘金綫全一册紙數三百頁餘

正價金壹圓 郵稅八錢

▲譯者序論(五十頁) ▲第一章、晩近倫理思潮の特質 ▲第二章、倫理學と進化論 ▲第三章、倫理學と觀念論(六十一折)

本書は英國倫理界の鴻儒シヂヰック氏の後を承けて現今劍橋大學の倫理學の敎授たるソオレイ氏の名著にして歐洲殊に英國の晩近倫理思想の傾向を啻に專門の學生に向つてのみならず又一般の敎養ある士人に向つて講述せしものなり。十九世紀と現代との倫理思想の根本觀念の差別を說き新道德の勃興、ニイチエの倫理觀、倫理學上の自然主義、グリイン、ブラドレイの觀念論の批評等は其主要にして延いてプラグマテイズム、ギヨオ等の新道德說に迄論及せり。譯者は多年エルル伯林大學等に於いて政治、社會、倫理學等を研鑽し亦其の文章は掬香居士の名聲已に我國の藝苑に定評あり其の流麗暢達なる言文一致は少しく敎養ある人々の容易に理會し得るところならん。本書は文檢受驗者及學校敎員諸氏の寶典也。

發兌 東京市京橋區尾張町(振替東京九五三) 警醒社書店 (本郷春木町 警醒社支店)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治四十五年四月二十五日發行
毎月一回二十五日發行